

除 害 施 設 使 用 届

令和3 年 9 月 30 日

(あて先)
新潟市長

届出者

住所（法人にあ
っては所在地） **新潟市中央区学校町通1-602-1**

氏名（法人にあ
っては名称及び
代表者の氏名） **新潟市ホテル株式会社**
代表取締役 新潟 太郎



電 話 番 号 **025 — 228 — 1000**

除害施設を公共下水道に接続したので次のとおり届け出します。

工場又は 事業場	所在地	中央区学校町通1-602-1
	名称	新潟市ホテル株式会社 電話 025 — 228 — 1000
業種及び作業内容		ホテル業 宿泊及び食事の提供 (別添製造工程)
除害施設	設置場所	別添図面のとおり
	種類	厨房排水処理施設
構造図・用水及び排水の系統図		別紙のとおり
下水の量及び水質		別紙のとおり
汚水の処理方法		別紙のとおり
水質管理責任者		白山 一郎
接続工事日		令和3 年 9 月 30 日
設計及び工事業者		新潟市設備株式会社
除害施設工事費		450万円
備考		

以下は除害施設の種類により
記載内容が異なります。

1 汚水の処理の方法

(1) 除害施設の設置場所（添付第 図のとおり）

(2) 除害施設に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに使用開始の予定年月日

工事着手予定年月日 年 月 日

工事完成予定年月日 年 月 日

使用開始予定年月日 年 月 日

(3) 除害施設の種類・型式・構造・主要寸法及び能力並びに汚水の処理の方式

種 類	型 式	構 造	主 要 寸 法	能 力 (□/日)	処理の方式

(4) 汚水の処理の系統（添付第 図のとおり）

(5) 汚水の集水及び除害施設までの導水の方法（添付第 図のとおり）

(6) 除害施設の使用時間間隔及び1日当たりの使用時間並びにその使用に季節的変動がある場合には、その概要

除害施設の名称	使用時間間隔	1日当たりの 使 用 時 間	季節的変動の概要	備 考

(7) 除害施設において中和・凝集・酸化・その他の反応の用に供する消耗資材の1日当たりの用途別使用量

除害施設の名称	消耗資材名	用 途	1日当たりの 使 用 量	備 考

(8) 除害施設による処理前及び処理後の汚水の水質及び量（当該事業場から排除される下水に係る水質の基準が定められた事項に限る。）

水量・水質 処 理 施 設 の 名 称		排 水 量 (□/日)		水 質							
				p H		(ng/□)		(ng/□)		(ng/□)	
		通常	最大	通常	最低 最高	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	処理前										
	処理後										
	処理前										
	処理後										
	処理前										
	処理後										

(9) 汚水の処理によって生ずる残さの種類及び生成量並びに処理の方法

残 渣 の 種 類	生成量 (/)	処 理 の 方 法 の 概 要	備 考

(10) 汚水を公共下水道へ排除する方法（排出口の位置及び数並びに排出先を含む）
（添付第 図のとおり）

(11) その他汚水の処理の方法について参考となるべき事項
除害施設の建設費

2 公共下水道に排除される下水の量及び水質

- (1) 排出口における水量及び水質(当該事業場から排除される下水に係る水質の基準が定められた事項に限る。)

水 量 ・ 水 質	排 水 量 (□/日)		水 質							
			p H		(ng/□)		(ng/□)		(ng/□)	
排 水 口 別	通常	最大	通常	最低 最高	通常	最大	通常	最大	通常	最大

- (2) その他参考事項

3 用水及び排水の系統

- (1) 事業場における用水及び排水の系統 (添付第 図のとおり)

- (2) 用途別用水使用量 (□/日)

水源別用水量 用途別水量	上 水 道	工業用水道	地 下 水	循 環 用 水	そ の 他	計(用 水)
ボ イ ラ ー 用 水						
原 料 用 水						
冷 却 用 水						
製 品 処 理 用 水						
洗 淨 用 水						
温 調 用 水						
その他 (生 活)						
合 計						

- (3) その他参考事項

4 参 考 事 項

(1) 工場・事業場の規模等

資 本 金	万円	操 業 時 間	時～ (時間)
従 業 員 数	()人	休 業 日	
敷 地 面 積	m ²	担 当 部 課 係	
建 物 面 積	m ²	担 当 者	
作 業 場 面 積	m ²	連絡先電話番号	

(2) 主要製品名及び生産量

--

(3) 事業場付近見取図（案内図）

--